

THE UNIVERSITY OF THE WITWATERSRAND, JOHANNESBURG !!!

The University of the Witwatersrand: ネルソン・マンデラ元大統領をはじめ、平和・化学・文学・薬学で4人のノーベル賞受賞者を輩出してきた南アフリカの名門大学。「ウィッツ」の愛称で親しまれ、世界中から多様なバックグラウンドを持った学生が集まる。



STUDY

授業は月曜日から金曜日まで、1限目は朝の8時から始まります。1セメスターに3~4つの授業を履修することができ、1つの授業は週2回の講義(各1時間半ずつ)とチュートリアル、また授業によっては Practical という実習から成り立っています。講義でもチュートリアルでもいつも先生と生徒の間で活発な意見交換があり、授業中に授業の内容そっちのけでディスカッションが始まってしまうこともあるほど。アフリカに特化した内容を扱う授業も多いです。

LIFE

学内の留学生寮(International House)で暮らしています。1人部屋で、部屋にはキッチンやシャワー室もついています。食事は自炊が基本ですが、学内にも飲食店が多くあり、比較的安い値段で食事をすることができます。



International House には世界中から学生が集まっており、セメスター終わりの braai(南アフリカ流の BBQ)やカラオケパーティー、ピクニック、自国の料理を持ち合う cultural party など、様々なイベントを通して世界中に友達を作ることができます。

ACTIVITY



週に2回、タウンシップの子どもたちに勉強を教えるボランティアに参加しています。タウンシップとは、アパルトヘイト時代の隔離政策によって設置された旧有色人種居住区。現在も貧困に苦しむ人々が多く暮らしており、学校教育の質も他の地域と比べて低いと言われています。しかしそのような状況の中でも勉強の重要性を自覚している子どもはとて多く、一つのゴールとして彼らが大学に進学することができるよう、勉強面のサポートを行っています。熱心に勉強に取り組む彼らの姿に学ばされることも多く、毎回有意義な時間を過ごしています。

Johannesburg, South Africa

南アフリカは、様々な origin を持つ人々が共に暮らす多様性の国です。例えば、公用語は11カ国語、国歌は5つの言語が2つの曲に渡り歌詞をリレーしていく作りになっています。アパルトヘイトの廃止から21年、多くの人種が融和した希望溢れる真の「虹の国」を目指して進み続けており、また、アフリカの中で著しい経済成長を遂げている国でもあります。

その経済の中心地であるのがヨハネスブルグ。国内最大の都市であり、また、テレビ局や新聞社なども多いことから、文化の発信地ともなっています。

自然環境や文化遺跡も豊かで、人々はフレンドリーで温かい。そんな魅力に溢れた南アフリカを、是非一度訪れてみてください！



↑「アフリカの桜」とも言われるジャカラダ。春になると紫の花を満開に咲かせてくれます。